

「授業備品」No.298 08.1.18 子どもたちに授業や評価を委ねる（高知県三原村授業づくり大会）

R 7.12.13に、高知県三原小・中学校での高知授業づくり研究会があった。それをまとめた。主体的な学びは同じだが、「個人（個別）学習・協力して学ぶ」ことをねらいにした。

1 学校って何？ 「分からないことをなにかに聞く場所」

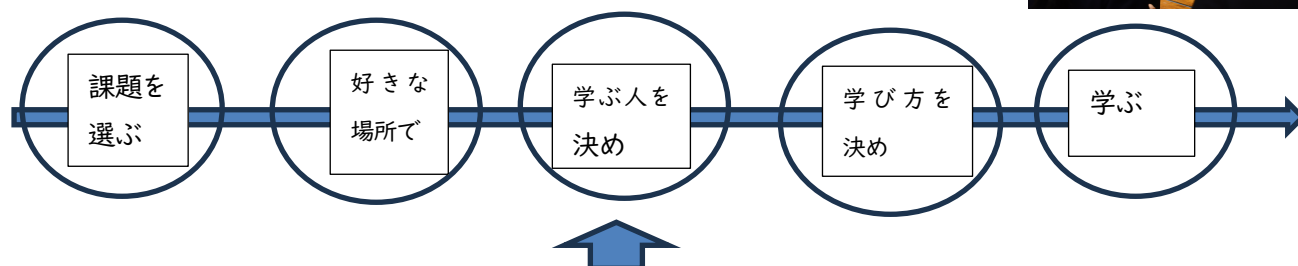
2 学校の意義を子ども間で決める

「子どもたちが先生を頼らず主体的に学び、安心して何でも取り組める学校」

3 主体性を改めて問う

(1) 子どもの学び方の基準を変える（教師は、子どもを信じ、学びを任せる）

子どもが



これまでの授業（学校）

教師が教材研究をし、学習課題を決め、しゃべり、まとめる。教師主体の授業。

(2) 子どもたちに学びを委ねる授業（三原大会の授業）

①授業で目指したこと

ア 授業を進めるのは教師ではなく自分たちであるという意識

イ 自分なりに問いを立て、課題をつくり学ぶ

ウ 学習方法やペースを自分で選び決め学ぶ（三原小の社会）

エ 同一学年から異学年と学ぶ（三原中の全校数学）

オ 授業評価の数値化



自分の課題選択
（三原小）



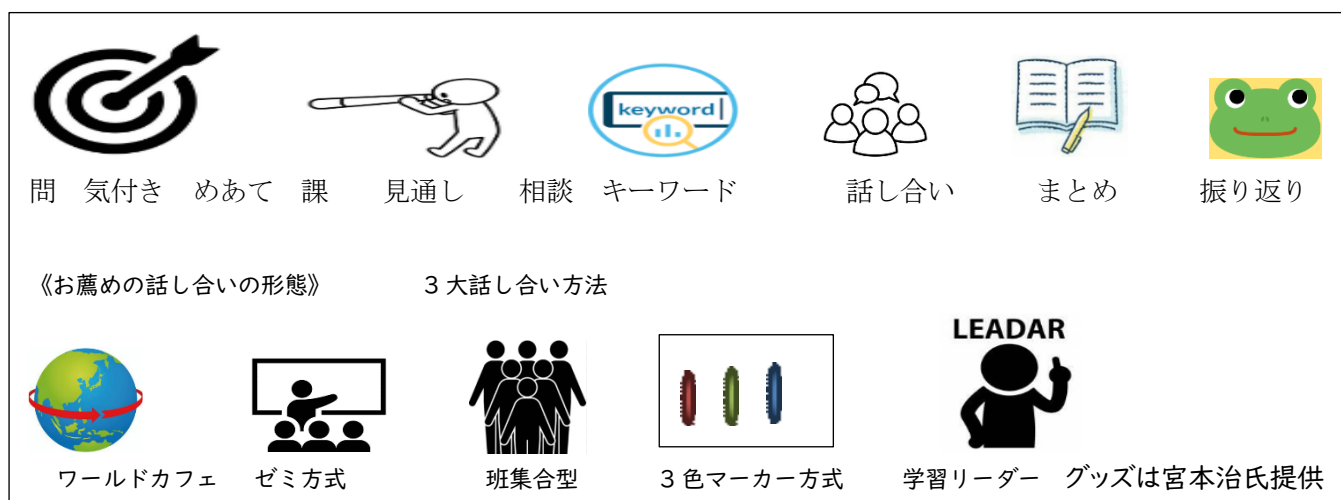
異学年で学ぶ
（三原中）

4 学習過程（学習スタンダード）をピクトグラムで分かりやすくする

(1) 授業を変える方法

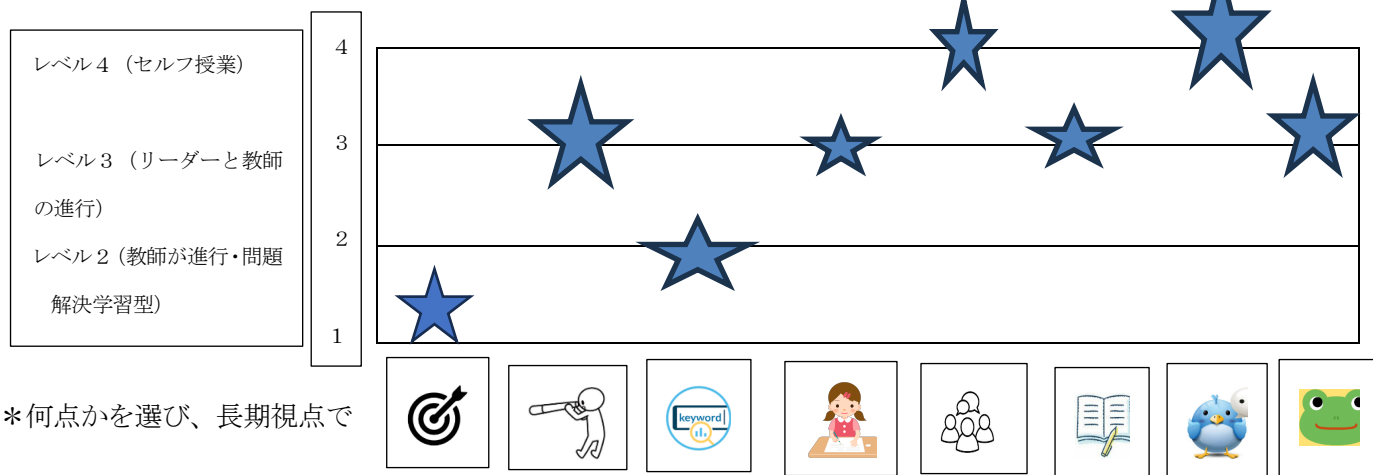
①問題解決学習過程を文字から「簡略と図式化」へ

課題→見通し→相談→自力→探る（班考察等）→話し合う→まとめ→振り返り



5 学習活動評価の可視化

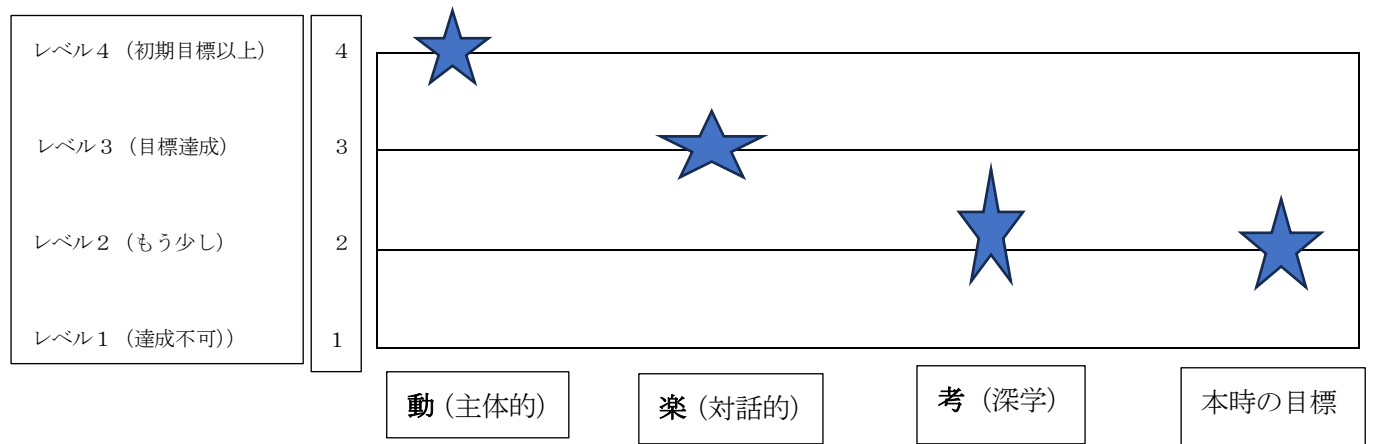
(1) 問題解決学習過程の評価（三原大会で実践）



(2) 資質・能力の3つの柱に対応した学習評価



(3) 学習指導要領3本柱の評価



(4) 個別最適・協働的な学びにつなげる授業評価へ

自分で「目標（めあて）」を決め、好きな場所で好きな仲間と好きな学習方法」で学ぶことを評価する。

留意点

- ①まずは、問題解決的な学習過程の評価を行う。（教師主体の授業（一斉授業）を減らす）
- ②上記4視点の可視化評価の充実のために項目を混ぜ評価を行う。
- ③この見える評価の前に、個人内評価をする。（授業備品294号、みがき度チェック）
- ④子どもの声を第一に考え、子どもと教師が一緒になり評価を行う。（教師だけの評価は止める）
- ⑤教師間の評価は、付箋紙やタブレットを使い短時間で行う。














本時の学習活動案（レッスン・プラン） 令和7年12月13日(土) 第4校時 6学年M（三原小）

【目標】産業や経済の発展を調べ、社会の様子や暮らしの変化を知る【知・技】

【キーワード】「テレビ」「洗濯機」「冷蔵庫」「電気製品」「三種の神器」「高度成長」「公害」

授業前のリーダー	・黒板に授業グッズを貼る ・黒板に「今日の課題」「キーワード」「まとめの書き出しを書く」 ・ワークシートやホワイトボードを配布する。
----------	--

流れ アイコン	学 習 活 動	☆学習リーダー○支援
導 入	・前時の振り返りを（近く）で伝え合う。（1分） 	☆振り返りの指示 
 めあて  見通し  キーワード  自力  話し合い  まとめ  振り返り	・提示された資料・本文・資料集から、 気付いたこと をペアで話し合い、その場で話す。 ・今日の課題を話し合い、2つ程度にしばり、各自で選択をする。 ・今日の授業の流れをピクトグラムで確認する。 ・今日のキーワードをペアで話し合い、全体で4つ程度に絞る。 ◇ ちょこっと相談 （2～3人）をして、おおよその「解」を確認 ◇それぞれの学び方で課題解決をする。個。（5分） ◇同じめあてのグループで集まり考えを共有する。（3分） ・ゼミナール（1～3つの班が集合）で、 ホワイトボードを使って考察を行う。（10分）  ◇まとめた意見を全体で共有する。（5分）  ◇ペアや班で疑問や意見を再度出し合い考えを確認する。（3分） ◇まとめをする。（5分） ◇今日の課題に対する考えを振り返り、ワークシートに記入する。（3分）	☆「課題」「流れ」「キーワード」の確認を進行する。 ☆「学習の流れ」を指示する。 必要に応じて教師に相談する。 （＊7分以内） ☆自力で解決できない仲間のため、まず「ちょこっと相談」の時間を設ける。 ○解決の状態を確認し、個別指導を行う（机間指導） ☆いくつかの考えから共通することを見つけるよう指示をする。 ○必要に応じて、教師が修正する。 ☆振り返りブツブツタイムの指示を行う。
授業後のリーダー	・板書を撮影し、消す。学習グッズや資料を片付ける。 ・次回のリーダーと教師の打ち合わせ日を決める。（資料・課題について話し合う。）	○提出物の確認

《お薦めの話し合いの形態》



ワールドカフェ



ゼミ方式



班集合型



3色マーカー

《学習リーダー》



令和7年度 全学年数学科学習案 12月13日(土) 【授業者 S】(三原中)

単元名 1年:比例と反比例 2年:1次関数 3年:2乗に比例する関数

本時の目標(付けるべき力) 身のまわりの問題を、表、式、グラフを用いて調べ、考察することができる。

授業前のリーダー	<ul style="list-style-type: none"> ・黒板に授業グッズを貼る ・黒板に「今日の課題」「キーワード」「まとめの書き出し」を書く ・ワークシートやホワイトボードを配布する。
----------	--

流れ アイコン	学 習 活 動	生徒全員が活躍する姿
導 入	<ul style="list-style-type: none"> ・前時の振り返りを(近く)で伝え合う。(1分) 	☆振り返りの指示をする。
見通し めあて キーワード	<div>課題:次の関係は、関数の関係か。また、関数なら、どんな関係か</div> <ol style="list-style-type: none"> 1 提示された問題を読み確認 2 これまでのまとめをペアで振り返り、気付いたことを確認する 3 めあてを把握する <div>めあて:xとyは関数の関係か、また、どんな関係であるか、式、表、グラフの特徴から考え説明しよう。</div> <ul style="list-style-type: none"> ・今日の授業の流れをピクトグラムで確認する。 ・今日のキーワードをペアで話し合う。 	<ol style="list-style-type: none"> ① ペアで自分の学年の既習事項を振り返る。 ② 全体で確認する。 ③めあてを全体で読む。
話し合い 学び合い まとめ 振り返り	<ol style="list-style-type: none"> 4 ちょこっと相談(2~3人)をして、おおよその「解」を確認 5 ペア→カフェ(各班2分)→ペア <p>*ペアでの時間設定は、生徒が行う</p> <div>    </div> <ol style="list-style-type: none"> 6 学び合い <p>◇まとめた意見を全体で共有する。(5分)</p> <p>◇ペアや班で疑問や意見を再度出し合い確認する。(3分)</p> <div>   </div>	<ol style="list-style-type: none"> ④ペアでホワイトボード ⑤カフェ ⑥アドバイスから成果に近づける ⑦ホワイトボードを出し、共通点を相違点を出し合う。 ⑧仲間分けをする <p>○必要に応じて、教師が修正する。</p>
	<p>まとめ:身近な事象には、多くの関係になるものがあり、それらの関係がどんな関係を式、グラフの特徴を用いて考えることが出来る。</p> <p>振り返り: ノートに振り返りを書く。</p>	<ol style="list-style-type: none"> ⑨まとめを全体で確認。 ⑩振り返りのぶつぶつタイム <p>*全員活躍の場10回以上</p>
授業後のリーダー	<ul style="list-style-type: none"> ・板書を撮影し、消す。学習グッズや資料を片付ける。 ・次回のリーダーと教師の打ち合わせ(資料・課題についてう) 	○提出物の確認

《お薦めの話合いの形態》



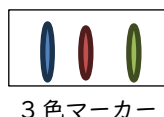
ワールドカフェ



ゼミ方式



班集合型



3色マーカー

《学習リーダー》



LEADAR

グッズは宮本治氏提供